

箸荷だいすき

発行/むら芝居と花の里 はせがい

兵庫県多可郡加美町箸荷区 季刊(年4回)

編集/箸荷新聞編集委員会

URL <http://www.haseshow.com>

2004年 9月27日発行 VOL.41

箸荷地区が愛知・西春町で むら芝居熱演 全国サミットの晴れ舞台で時代劇

全国サミットの晴れ舞台でむら芝居公演 - 。むら芝居の里づくりを進める多可郡加美町の箸荷(はせがい)地区(安藤 茂区長・58戸)のむら芝居保存会が、7月31日に愛知県西春町の文化勤労会館で開催された第3回全国むら芝居サミット in 愛知西春大会で時代劇を熱演しました。会場いっぱいの観客ら約1000人の拍手を集めました。

サミットは、各地の芝居仲間やグループとの交流や情報交換の場。同保存会の呼びかけで「全国むら芝居ネットワーク」を平成14年に立ち上げ、同年10月の加美大会開催を皮切りにスタートさせました。

今年は、愛知県の西春町民劇団「福祉座」が開催地に名乗りを上げ、昨年の新潟・佐渡大会に続いて実施。新潟県や兵庫県などから6劇団約150人が集まり、兵庫県からは箸荷の保存会19人のほか、但東町の劇団ささゆり、日高町の宵田一座が参加しました。

保存会はオリジナル劇「涙の再会、別れ旅」(40分)を熱演。やくざ半五郎のわなにはめられ、島流しとなった主人公・常吉。10年ぶりに故郷に戻ると、母はずでにこの世を去り、妹は目明かしと結婚していて、島帰りの常吉は、親子の名乗りもあげられない。そんななか、半五郎の魔の手は、病弱の父と妹へも伸びつつあった。悲劇的な筋立てで、6人が舞台に立ちました。立派なホールで大立ち回りを演じ、おひねりが飛び交うなど拍手と喝さいを博しました。

一昨年までは興行社からカツラや衣装を借り化粧もしてもらっていましたが、昨年、京都府瑞穂町の「劇団さざんか」から中古のカツラ、衣装など約200点を安く購入。昨年からは化粧も同むら芝居保存会の女性たちが担当しています。

その日は夕方から犬山市の宿泊施設で懇親会があり、夜遅くまで親ぼくを深めました。



翌日は、来年のサミット開催地についての話し合いがあり、その後、ビール工場の見学や神社の参拝などをしました。

全国サミットの晴れ舞台で熱演する箸荷むら芝居保存会の役者たち(7月31日、西春町文化勤労会館で)

来年のサミットは兵庫・日高町で開催決まる

来年の第4回全国むら芝居サミットは、兵庫県日高町（来年は合併により豊岡市）での開催が決まりました。今年のサミットの話し合いを受け、大分県国東町に打診していましたが、日高町・宵田一座の熱意が開催決定につながりました。国東町・英ちゃん劇団は第5回大会の開催を検討するとのことでした。

芝居サミット・箸荷がテレビで全国放映されます

今回の全国むら芝居サミットの模様と箸荷地区の取り組みがテレビで全国放映されます。放映されるのは11月で、日が決まればお知らせします。NHK教育テレビで土曜日の夜11:30からの「土曜フォーラム」です。サミット当日（西春町）と8月に箸荷地区で取材を受けています。放映時間は約3分間です。

また、総務省が箸荷地区の取り組みを15分間のビデオにまとめてくれました。このビデオは来年1月からインターネット上で動画配信されますので、パソコンを通じて世界各国で見ることができます。総務省の委託先であるNPOネットジャーナリスト協会が今回のサミットに同行取材し、練習風景から当日の本番の模様までが収録されています。詳細は後日お知らせします。お楽しみに。

秋祭り余興大会は10月10日（日）夜 芝居や踊りでお楽しみを

恒例の箸荷秋祭り余興大会が10日（日）夜に開催されます。むら芝居保存会の時代劇のほか、婦人会の踊り、消防団、年代別親ぼく会の寸劇、バラエティショーなどが計画されています。

ご家族おそろいでお越しくださいますようご案内いたします。

と き 平成16年10月10日（日）19:00 - 22:00

ところ 箸荷むらづくり館

プログラム

- | | | |
|------------|-------------------|-------|
| 1. 婦人会 | 踊り「 ? 」 | (10分) |
| 2. 楽久賀喜会 | 寸劇「珍説 笠地蔵」 | (30分) |
| 3. 消防団 | 寸劇「花咲爺さん」 | (30分) |
| 4. 楽久賀喜会 | 「あなたの来年の誕生日は何曜日？」 | (15分) |
| 5. ロマンズ会 | 「ビンゴゲーム」 | (20分) |
| 6. 親和会 | 寸劇「初天神」 | (30分) |
| 7. むら芝居保存会 | 時代人情劇「涙の再会、別れ旅」 | (40分) |

主催：^{はせがい}箸荷むらづくり委員会

（箸荷区、婦人会、楽久賀喜会、親和会、ロマンズ会、箸荷むら芝居保存会、劇団 箸消興行ほか）

御頭神事は11日(祝)午前10時から 引き続き11時から子ども御輿

秋祭りの御頭神事は予定どおり10月11日(祝)午前10時から大歳神社で開催されます。引き続き、11時から子ども御輿の巡行が行われます。

道ぶしん 10月3日(日)午前8時~

毎年恒例の道づくりが10月3日に行われます。各隣保単位でお世話になるわけですが、隣保長さんの指示でよろしくお願ひします。内容は、道路の清掃です。草刈り機、ガンジキ等をご持参願ひします。

組合大池の堤防に花マットを植栽 イワダレソウを200㎡

箸荷むらづくり委員会では、水利組合や子ども会などの協力を得て、5月23日、組合大池の堤防にイワダレソウの花マットを植えました。委員会では区民の提案を受けて数年前から計画してきたもので、昨年秋に植える予定だったのが納品の遅れから今春になったもの。当日は幅5m×40mの200㎡に植栽。当日は多くの皆さんにご協力をいただき、ありがとうございました。

加美町箸荷産の地紅茶が完成 3年目 「はせがい紅茶」道の駅などで販売

地元のお茶の葉で、紅茶づくり。加美町箸荷地区の有志約30人でつくる「箸荷紅茶の会」(足立はるみ代表)が、地元のお茶の葉から紅茶をつくり6月に完成しました。一昨年4月に「箸荷紅茶の会」を発足させ、同年8月に初めて地紅茶を商品化しました。これまで無駄にしていた2番茶の有効活用を図ろうと、2番茶による紅茶づくりを発案。今年が一番茶と二番茶の両方で地区挙げて茶摘みを行い、約30キロの生葉を鳥取県名和町の製茶工場に持ち込みました。60キロの生葉は約15キロの紅茶に仕上がりに、アルミパック詰めして商品化しました。

出来上がった「はせがい紅茶」は、ラベルに「むら芝居と水仙の里」をイメージ。同会が紅茶づくりでアドバイスを受けている鳥取県紅茶の会会長の藤原一輝さん(49)にデザインしてもらいました。各地の地紅茶づくりを広めている藤原さんは「はせがい紅茶」について「箸荷地区の素朴な風味がうまくパックされた、いい紅茶が出来上がった。香りと味わいのバランスが非常に良く、抜群の仕上がり。香りがダージリンに似ている」と評価しています。1パック30グラム入りで、500円(税込)。加美町道の駅と「ふれっしゅあぐり館」などで販売中です。

箸荷紅茶の会代表の足立はるみさんは「今年は大変暑いなかの茶摘みで、みんなの力で紅茶が仕上がりにうれしい。味のほうは、昨年同様とてもいい香り。多くの皆さんにご協力をいただき、ありがとうございました」と話しています。問い合わせは、足立さん(TEL 0795-36-0075)

箸荷むら芝居保存会が事例発表 文化芸術懇談会（近畿ブロック）で

河合文化庁長官や井戸・兵庫県知事らが出席し、文化芸術の振興について意見を交わす「文化芸術懇談会（近畿ブロック）」が6月10日、神戸市で開催されました。箸荷むら芝居保存会事務局が事例発表しました。これは、井戸知事の推薦によるもので、昨年の秋祭りで知事に箸荷のむら芝居をご覧いただいたことがきっかけです。公明新聞に掲載された記事を転載します。

はせがいの動き

5 / 3 クリーンキャンペーン、墓掃除、シシ垣作業。お疲れさまでした。

5 / 30 町消防操法大会。箸荷消防団、健闘する。

8 / 8 墓掃除。暑いなかご苦労さまでした。

8 / 22 愛宕の火祭り行われる。
3隣保の今中規夫さん・今中繁さんから、今中健夫さん・今中順一さんに御頭渡しがありました。

9 / 26 町内一斉の防災訓練。消火栓訓練などが行われました。

視察来村

6 / 7 夢前町生涯教育委員
(33人)

6 / 13 篠山市日置地区(28人)

6 / 19 福井県高浜町内浦地区
(22人)

北はりま田園空間博物館(25人)

6 / 28 福井県小浜市国富公民館
(15人)

9 / 23 丹波の森大学(中瀬勲先生ほか11人)

の・ん・べ・え・編・集・室

編集部へ情報、ご意見をお寄せください。お待ちしております。メールアドレスは E-mail zachow@haseshow.com です。